

学校教育目標	自ら学ぶ意欲にあふれた児童の育成 — かしこく やさしく しなやかに —	経営理念	【ミッション】「知・徳・体」のバランスの取れた児童の育成 【ビジョン】小規模校の良さを生かし、児童の力を最大限に伸ばす学校 ○児童の夢と希望を育む学校 ○教育環境の整った学校 ○あいさつの声が響く学校 ○保護者や地域と連携する学校
--------	---	------	--

評価計画						自己評価					学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方針	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方針
							10月	2月						
確かな学力	1	◎学ぶ楽しさを味わわせ、確かな学力の定着を図る	○児童の学習満足度を向上させる	・児童が主体的に学習しようとする活動の流れを工夫し、進んで表現しようとする授業を行う。	★児童アンケートで「進んで発表している」「勉強がよくわかる」の肯定的評価	80%以上 90%以上	発表 82% 勉強 94%	発表 85% 勉強 93%	106% 103%	3	・「進んで発表している」を肯定的に答えた児童は目標値を超え、10月より数値が上がった。児童アンケートにおいて、「勉強がよくわかる」を肯定的に答えた児童は目標値を超えた。 ・ICTの活用など児童がやりたくなるような学習活動の工夫により、児童が主体的に授業に参加し、わかると感じられる授業になってきている。	B	○ICTの活用とはどのようなものがあるのか。→デジタル教科書やタブレット、ジャムボード等	○取組を継続していく。
			○学力を定着させる	・ねらい、まとめ、振り返りが連続する授業を進めるとともに、個に応じた指導の工夫を行う。	★国語「思考力」を図る問題・算数「活用力」を図る問題 正答率 ★国語・算数の各単元テストの平均正答率 ★児童アンケート「進んで読書をしている」の肯定的評価	80%以上 85%以上 80%以上	思考力 国71% 算74% 単元末 国84% 算82% 読書 75%	思考力 国84% 算83% 単元末 国88% 算85% 読書 65%	105% 103% 110% 100% 81%	3	・国語・算数の単元末、活用問題の正答率も目標値に達したが、読書については目標値に達しなかった。 ・今後も上小授業モデルの徹底や、児童の思考を深める授業の在り方を考えていく。読書活動では、授業・朝読書などの充実を図る。	A	○単元末テストだけでなく、標準学力調査など客観的な数値も上がっているのが良い。	○取組を継続していく。
豊かな心	2	◎学校や地域に誇りと愛着をもたせるとともに、思いやりや社会性などを育成する。	○自己肯定感や自己有用感を高める。	・異学年交流活動を充実させ、一人一人の児童が認められる場を作り、教職員が児童の良さを具体的に評価する。 (異学年総会、縦割り班活動・クラブ、委員会など)	★児童アンケートにおける自己肯定感・有用感の肯定的評価	90%以上	84.5%	86.3%	95.8%	2	・縦割り班掃除で、高学年は低学年に優しく教えたり、責任をもって担当の掃除を行ったりすることで、自己肯定感や自己有用感が高まった。また、担任以外のいろいろな先生から褒めてもらう機会が増えた。 ・なかよし班遊びの回数があまりなかったため、もう少し回数を増やして、高学年の活躍の場を設けたい。	B	○回数が少なかったのは残念だが、来年度は通常通りできたらよい。	○取組を継続していく。
			○道徳的な心情・態度(特に郷土愛)を育成する。	・普通・普通・普通などの和文化教育を充実させ、日本の文化に愛着をもたせる。 ・学校と家庭で「東広島スタンダード」に協働して取り組むために、通信等で啓発を行い、「上小っ子の生活カード」の指導の充実を図る。 ・はきものそろえを重点的に取り組む。	★「東広島スタンダード」の定着率	90%以上	88.4%	95.0%	105.6%	4	・東広島スタンダードの児童の自己評価では、肯定的評価が97.6%であった。しかし、保護者アンケートの結果では、全項目でそれを大きく下回り、中でもはきものそろえは52.9%とかなり低い結果となった。学校ではできていても家庭では難しい実態が浮き彫りになった。引き続き、家庭との連携を図っていく必要がある。	B	○あいさつの声が小さい ○靴そろえ等は習慣であるから、引き続き教えていくとよい。	○一斉下校等を利用して、登校班ごとに指導をしていく。 ○取組を継続していく。
健やかな体	3	◎生活の基盤となる健康な体、気力・体力の育成を図るとともに、基本的な生活習慣の定着を図る。	○運動能力・基礎的な体力と運動意欲の向上を図る。	・児童が「運動をするのが楽しい」と感じる行事や遊びを推奨し、継続して実施しやすい運動を具体的に紹介しながら行わせることで、体を動かすことの楽しさ・運動することでの達成感が感じられるようにする。	★児童アンケートにおける「運動をするのが楽しい」の肯定的評価	90%以上	86.2%	91.2%	101%	3	・持久走大会など、前向きな姿勢で運動をとらえ、楽しく外遊びもできている。児童アンケートでは肯定的評価を上げた児童が多数であった。一方、否定的な回答をした児童も少数ながらいる。個別の対応を行い、その児童の抱えている悩みや不安を解消できるよう寄り添った姿勢を大切にしていくようにする。	B	○運動量の満足度は個人差がある。個人にあった運動量も見えていく必要がある。	○個別の運動時間と満足度の両方を見ていく方策を考える。
			○基本的な生活習慣の定着を図る。	・家庭連携とともに、具体的に必要な睡眠時間を示した上で個別の実態に合わせた学級指導・助言を行う。その際、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの定着を図り、定期的に「上小っ子の生活カード」をもとに指導する。	★児童の定着率「早寝・早起き・朝ごはん」	各85%以上	90.0%	89%	104.7%	3	「上小っ子の生活カード」の集計より、早起き90%、早寝81%、朝ごはん96%の定着率となっている。各学年の目標睡眠時間を確保できていない児童は増加しているが、個人が設定した起床・就寝時間を達成している児童が少ない傾向にある。目標睡眠時間を明確にし、無理な設定時間になっていないか見直す。	B	○適度な睡眠時間にも個人差がある。普段の様子を見ていってほしい。	○個に応じた声かけをしていく。
信頼される学校	4	◎校長を中心とした学校経営を行い、地域に信頼され、地域に貢献する学校づくりを推進する。	○学校の教育活動に対する保護者の理解や満足度の向上を図る。	・保護者アンケート結果や意見を学校経営の改善に生かす。 ・学校だより発行やホームページ更新により、学校の取組や児童の様子をタイムリーに伝える。 ・報連相の徹底を図り、迅速な対応と連携に努める。	★保護者アンケートにおける「本校の教育活動に満足している」の肯定的評価 ★学校だより発行、ホームページ更新	90%以上 90%以上	93.8%	91.0%	101%	3	・学校だよりを月1回発行し、HPの更新も月2回以上行うことができた。 ・引き続き、保護者等からの要望には、学校長へすぐに報連相を行い、迅速な対応に努めた。	A	○HPの更新回数が増えているのを感じることができた。	○取組を継続していく。
			○児童とよりよく向き合う時間を確保する。 ○コミュニティ・スクールとして学校運営協議会の充実を図る。	・業務改善の意識を持ち、計画的・組織的・効率的に業務を遂行する。 ・教職員の時間確保のため、時程や提出物の在り方の改善に取り組む。	★児童アンケートにおける「学校は楽しい」の肯定的評価 ★教職員による業務改善に係る意識アンケート「子供と向き合う時間(授業準備等を含む)がこれまでより増えている」と答える教職員の肯定的評価	90%以上 80%以上	81.6% 100%	86.9% 100%	96.6% 125%	2 4	・前期同様、友人関係への悩みや嫌なことがあった等目標値を下回ったが、担任がすぐに聞き取り等の対応や保護者連携をとっている。 ・木曜日の研修日を5校時にし、時間確保に努めた。	A	○退校時間が改善されている。	○取組を継続していく。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
 4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
 2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)
 A...とても適切である B...概ね適切である
 C...あまり適切でない D...全く適切でない
 (N...判定できない)